



TITLE:

東亞天文協會觀測部月報欄 (日食報告號)

AUTHOR(S):

CITATION:

東亞天文協會觀測部月報欄 (日食報告號). 天界 1936, 16(184): 407-412

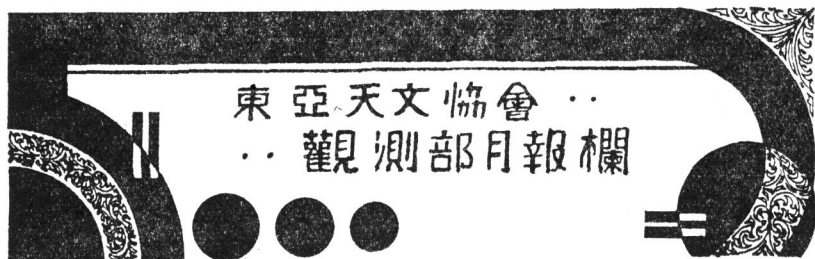
ISSUE DATE:

1936-07-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167269>

RIGHT:



遊星面課月報

日食の餘波を受けて遊星面スケッチは大して集まらない。15年に一度と云ふ土星環消失の觀測の報告も2, 3名を除いて全然なし。木星の見取圖受領數は、前田治久氏5枚、坂井弘氏5枚、伊達英太郎氏9枚、小澤喜一氏1枚、渡邊恒夫氏1枚、安武研二氏3枚、宇野良雄氏1枚、木邊幹事1枚合計26枚で、大して悪い結果ではない。土星の見取圖は渡邊氏が3枚、伊達氏2枚の合計5枚で、案外である。渡邊氏が土星環(アンサ)の形を面白くキャッチしておられる。大體アンサは6月19日には15種迄の器械には見えなかつた様である。

木星—先月の月報で一寸御知らせしておきました大赤斑の復活は、其後



木星 6月17日21時10分

15種反射 ($\times 215$, $\times 155$)
 シーリング5, デヒニション P-VP
 觀測者 大分、渡邊恒夫



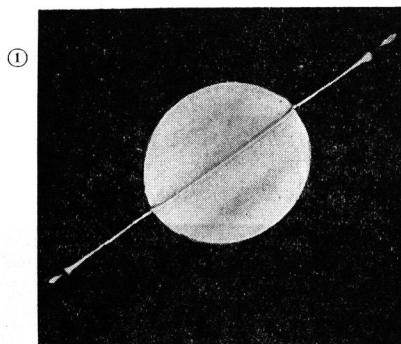
木星 6月12日22時20分

11種反射 ($\times 170$)
 シーリング10-9, デヒニション G-VG
 觀測者 兵庫、伊達英太郎

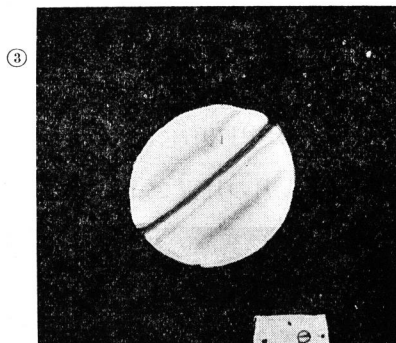
坂井、渡邊兩氏により確認され、花山での観測は未だですが大體確實と認められます。大赤斑は、今年に入り俄然濃度と太さを増した南溫帶縞に接しており(恰も南溫帶縞の一部が北の方へ突出した如き外觀)、色は淡赤褐色型は明らかなる橢圓形には非ざるも、北半分は橢圓形南側は南溫帶縞に接しており、半橢圓形とも云ふべき形を呈してゐる。南赤道帶縞が淡く細くなり、南溫帶縞が太く濃くなつた事も今年度における大變化である。南極部は北極部に比し若干濃し。赤道帶は淡黒く白斑無數にあり、南熱帯は可成り白い。

土星—土星環の消失は天候に妨害されて充分観測出来なかつた。大體を示せば 10cm 級では6月10日—15日位で見えなくなり、19日頃 15cm 級でも見えなくなつたらしい。再現の方は7月11日まで全國的の曇りであつたため

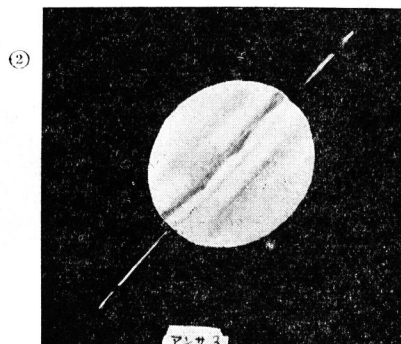
土星環の消失スケッチ



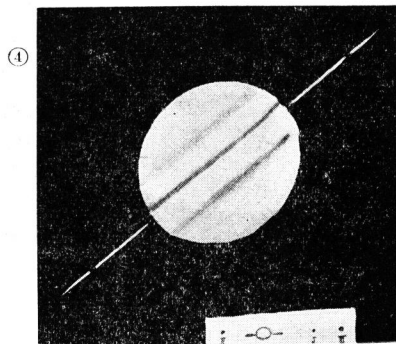
6月11日3時40分—4時50分



6月19日4時 0分—4時30分

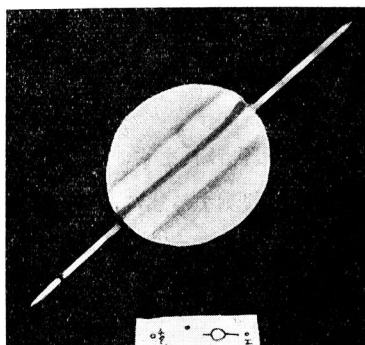


6月13日4時 0分—4時20分



7月11日4時 0分—4時30分

⑤



7月14日4時15分—4時40分

觀測者 大分 渡邊恒夫

155ミリ反射 (×400, ×300)

觀測がないが、7月11日には明かに 10 cm 級でも認め得る程度になつた様である。(幹事)

	伊達 (11cm)	前田 (10cm)	渡邊 (15cm)	坂井 (10cm)	木邊 (10cm) (32cm)	参 考
1936年 6月11日	—	5	3	—	—	
12日	—	—	—	—	見エズ	木邊 10cm
13日	6	6	3	—	—	
14~18日	—	—	—	—	—	
19日	見エズ	見エズ	7	見エズ	見エズ	木邊 10cm
6月20日~7月01日	—	—	—	—	—	
7月11日	—	—	5	—	—	
12日	5	7	—	5	2	木邊 32cm
13日	—	—	—	4	—	
14日	—	6	4	—	2	
15日	—	—	—	—	—	
16日	—	—	—	—	—	
17日	—	5	—	—	—	

伊達英太郎氏遊星面課幹事に

今回、遊星面觀測に特技を奮はれる伊達英太郎氏(兵庫)を遊星面課幹事に推し、同課の發展を計ることゝなつた。

東亞天文協會觀測部

珍しい大流星を撮影して (口繪参照)

東京市立一中文部

去る6月20日の夜に寫した流星の寫眞について報告致します。(當日1936年6月20日)は天文部々員10數名でトカケ座の新星を觀測する爲に、20時に學校に集合しました。尙當日の天候は良くなく、雲量は5—6の間で、絶えず雲は移動してゐました。この寫眞は擴角カメラを 新星に向けて、9時にシャツタ1を開き、9時15分に閉じたものです。

出現時刻 1936年6月20日21時11分。

出現位置 附近の恆星の大部分が雲の爲見えず、甚だ不明確なるも、セフェウス座の中央部を南端から北端に流れた。流星の横切つてゐるのが新星である。

視 角 殆んど60度。 **時 間** 6秒間。 **光 度** 最大光輝(—6等)。

色 最初は不明確なるも、大體綠に近い色、全行程の3分の2を終了後、青白青のもの、赤のもの2個に分離し、前者は上方(地平線に對し)へ、後者は下方に進んだ。

速 度 非常に遅い。 **痕** 極めて明瞭。

流し具合 最初は普通であつたが、間もなく、ブレーキをかけられた時の様な、極めて速度の滑かでない流れ方をし、分裂まで進み、その後は普通であつた。

大阪・和歌山兩支部合同 觀測指導會

1. 期間 8月14日(金)より17日(月)まで

1. 場所 南海沿線樽井 〔東亞天文協會〕會旗掲揚のテント

1. 晝夜太陽黒點・遊星面・變光星・流星の觀測指導、水泳の好適地

1. 會費 一切無料 但し食事は各自に於いて準備の事

(以上詳細大阪支部報、大阪市南區安堂寺橋通1丁目西森菊雄宛に間合)

遠近より好都合の日、時にお出で下さる事を望みます。

變 光 星 課 報 告 (39)

1936年4月中の觀測報告數

氏 名	今津 績	木邊成鷹	加藤孝一	沓掛七二	笹部榮一	佃 泰三	鈴木一男	小澤喜一	井澤正男	西井宗一	西川英雄	安武研二	横山徹郎	河合孝一	小山秋雄	合 計
星 數	4	37	0	4	0	11	0	12	0	28	2	2	0	4	6	68
觀測數	8	186	0	4	0	33	0	83	0	99	3	7	0	12	6	432

5月中の觀測報告數

氏 名	今津	木邊	沓掛	佃	小澤	西井	西川	安武	河合	計
星 數	1	25	10	5	3	7	5	3	5	41
觀 測 數	3	129	23	14	7	16	12	3	13	220

◎4月, 5月中は小山先生不在その他の理由で小山先生の御知らせ通り, 私の方で整理しました. 猶, 御報告を下さつた方々のみの記載に止めました.

變光星課 代 今 津 績

1936年6月の觀測

氏 名	今津 績	木邊成鷹	沓掛七二	佃 泰三	小澤喜一	西井宗一	西川英雄	安武研二	河合孝一	小山秋雄	合 計
星 數	3	8	4	0	7	9	5	13	0	0	31
觀測數	7	28	7	0	48	23	12	59	0	0	184

○數は 200 を割つたが, 新しい新星も出現したし, 氣候もよくなるので増加する事と思はれる. ○西川氏 4 月より復活された. 又加藤氏は金澤へ, 笹部氏は上海へ移轉され觀測中止となつた. 伊達氏も中止される. 倉數 小 山 秋 雄

ペルテヤ (Peltier) 彗星 近づく!!

8月4.0日の豫報位置

赤經 21時45.1,

赤緯 $-2^{\circ}19'$ (1936.0)

地球よりの距離0.172

(花山急報第222號より)

下 保 彗 星 の 發 見 !!

去る7月17日20時, 本會々員下保茂氏は東京にて小獅子座に光度約6等の新彗星を發見した. 核を有して居り, 非常な速さで地球に接近しつつあり.

(花山急報第220, 221, 222號参照のこと)

太陽課 黒點相對數報告 (1936年6月)

觀測者(觀測地)	松本(臺灣臺中高女)	久保(高知高等學校)	伊達(兵庫縣雲雀丘)	野口(大阪市北區)	前田(京都市下京區)	木邊(滋賀縣中里村)	尾崎(津市上濱町)	沓掛(長野縣青木村)	清水(靜岡縣島田町)	大石(靜岡縣吉永村)	森久保(橫濱市中區)	淺居(橫濱保土谷區)	山名(東京市板橋)	千葉(岩手縣水澤町)
鏡徑耗	58	75	80	76	70	75	30	102	100	55	45	58	76	50
倍率	40	53	70	50	40	60	50	75	73	64	60	60	77	50
1														
2	雨	67	70	曇	49	忙	欠	85	99	59	62	78	107	70
3	90	91	129	曇	86	115	87	141	121	95	忙	欠	181	104
4	曇	雨	曇	雨	曇	81	雨	雨	雨	曇	忙	忙	曇	曇
5	雨	43	87	曇	37	雨	欠	86	76	忙	忙	忙	忙	曇
6	曇	69	77	曇	29	霧	欠	71	94	69	72	74	82	83
7	曇	82	88	曇	93	曇	曇	97	114	89	曇	62	欠	76
8	曇	雨	曇	曇	曇	71	曇	曇	曇	曇	忙	忙	欠	71
9	曇	62	79	曇	34	旅	雨	曇	曇	曇	忙	忙	欠	曇
10	曇	37	48	曇	22	曇	曇	曇	曇	曇	忙	忙	欠	雨
11	22	37	45	曇	25	曇	欠	28	37	39	忙	忙	欠	曇
12	40	45	25	曇	49	50	曇	52	68	39	忙	忙	欠	曇
13	36	65	65	曇	41	50	曇	68	61	39	忙	忙	欠	曇
14	36	曇	43	曇	40	43	曇	43	忙	26	忙	忙	欠	曇
15	32	45	52	曇	37	32	曇	33	41	28	忙	忙	欠	曇
16	66	62	63	曇	64	51	曇	69	忙	54	忙	忙	欠	曇
17	50	47	50	曇	32	47	曇	78	72	50	忙	忙	欠	曇
18	74	64	60	曇	48	62	欠	83	曇	76	忙	忙	欠	曇
19	125	65	86	欠	欠	47	曇	74	曇	曇	忙	忙	欠	曇
20	88	81	115	曇	59	欠	雨	曇	曇	曇	忙	忙	欠	曇
21	旅	110	136	曇	旅	欠	雨	曇	185	83	忙	忙	欠	曇
22	曇	雨	忙	曇	曇	曇	曇	192	曇	雨	忙	忙	欠	曇
23	曇	130	113	曇	曇	曇	曇	191	曇	曇	忙	忙	欠	曇
24	曇	曇	116	曇	曇	曇	曇	131	139	曇	忙	忙	欠	曇
25	曇	84	134	曇	曇	曇	曇	123	123	47	忙	忙	欠	曇
26	曇	142	152	曇	曇	曇	曇	111	曇	143	忙	忙	欠	曇
27	80	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	忙	忙	欠	曇
28	45	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	忙	忙	欠	曇
29	69	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	忙	忙	欠	曇
30	59	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	忙	忙	欠	曇
日數	15	19	21	11	14	13	8	18	14	12	12	13	13	17
平均	61	73	85	67	44	64	45	91	99	68	62	56	111	78

附言 課員諸君の太陽觀測は堅實に行はれてゐます。只、新觀測者が滿州、支那、北海道あたりにも起つて貰ひたいことです。でないと、缺測の日が出来る心配があります。○日食の日の天氣模様を此の表で御覽下さい。(山本)